

### 3 都市計画市素案の縦覧(閲覧)及び公聴会について

都市計画市素案は、次の場所縦覧(閲覧)できます。また、関係住民及び利害関係人は、公述申出ができます。

#### (1) 都市計画市素案の縦覧(閲覧)及び公聴会の公述申出の受付

期間	場所	縦覧時間
平成28年5月25日(水)から 平成28年6月8日(水)まで 【土、日を除く】	横浜市建築局都市計画課 〒231-0012 横浜市中区相生町3-56-1 JNビル14階	午前8時45分から 午後5時15分まで

※縦覧期間中は、鶴見区役所区政推進課で、「都市計画市素案の写し」を閲覧できます(午前8時45分から午後5時まで)。また、都市計画課のホームページで「都市計画市素案の概要」をご覧になれます。

※公述申出書の提出は、6月8日(水)必着です。都市計画課に郵送又は持参で提出してください。また、都市計画課ホームページから電子申請により、公述申出をすることもできます。(公述申出書は、5月25日(水)から都市計画課、鶴見区役所区政推進課の窓口で配布します。また、都市計画課ホームページからも入手できます。)

※10名を超える公述申出があった場合は抽選を行います。

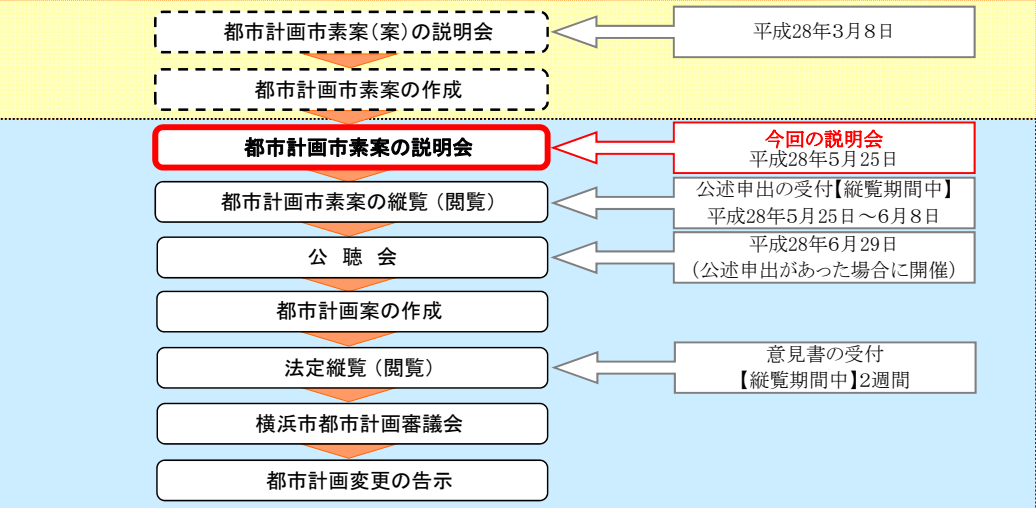
#### (2) 公聴会の日程及び会場 ※公述申出があった場合に開催

開催日(予定)	時間	会場
平成28年6月29日(水)	午後7時開始 (開場午後6時45分)	横浜サイエンスフロンティア高等学校 交流棟1階 ホール (鶴見区小野町6)

※公聴会の開催の有無については、6月10日(金)以降に都市計画課ホームページでご確認いただくか、都市計画課へ直接お問合せください。

※公聴会の傍聴は、事前申込は不要です。直接会場へお越しください。

### 4 都市計画の手続について



#### 【お問合せ先】

- 〈東京大師横浜線の計画内容について〉 道路局橋梁課  
〒231-0017 横浜市中区港町2-6 横浜関内ビル7階 TEL:045-671-2796 FAX:045-662-3945
- 〈高速横浜環状北線の計画内容について〉 道路局横浜環状道路調整課  
〒231-0017 横浜市中区港町2-6 横浜関内ビル7階 TEL:045-671-2780 FAX:045-651-2325
- 〈都市計画手続について〉 建築局都市計画課  
〒231-0012 横浜市中区相生町3-56-1 JNビル14階 TEL:045-671-2657 FAX:045-664-7707  
都市計画課ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/kikaku/cityplan/>

### 横浜市からのお知らせ

平成28年5月



## 都市計画道路東京大師横浜線及び高速横浜環状北線の都市計画市素案の説明会を開催します

横浜市では、老朽化が進行している東京大師横浜線の鶴見大橋の架け替えを検討するとともに、高速横浜環状北線の整備を進めています。

今回、東京大師横浜線(鶴見大橋)と高速横浜環状北線について、相互に設計を見直した結果、高速横浜環状北線の生麦ジャンクション連結路の短縮が可能となり、東京大師横浜線の線形改善による安全性、走行性の向上が図られるため、東京大師横浜線と高速横浜環状北線の都市計画の区域を変更する都市計画市素案を作成しました。つきましては、都市計画市素案の内容や今後の手続について、説明会を開催します。

#### 1 市素案説明会について

※工事の説明会ではありません。

開催日	時間	会場
平成28年5月25日(水)	午後7時開始 (開場午後6時45分)	横浜サイエンスフロンティア高等学校 交流棟1階 ホール (鶴見区小野町6) ※JR鶴見線「鶴見小野駅」から徒歩5分



- ※ 事前申込は不要です。当日直接会場にお越しください。
- ※ 説明は20分程度を予定しています。
- ※ 質疑の状況により、終了時間が早まる場合があります。
- ※ 会場には、駐車場の用意はありません。公共交通機関をご利用ください。
- ※ 学校敷地内は全て禁煙です。

この『お知らせ』は、東京大師横浜線・高速横浜環状北線変更区間の都市計画線からおおむね50mの範囲の地域の皆様にお配りしています。

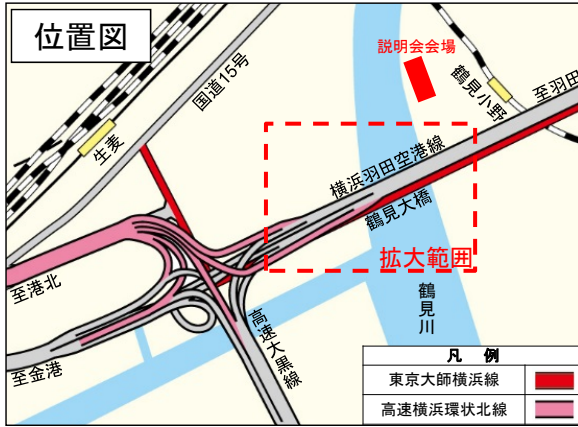


中面の

#### 2 都市計画変更の概要及び理由について

をご覧ください。

## 2 都市計画変更の概要及び理由について

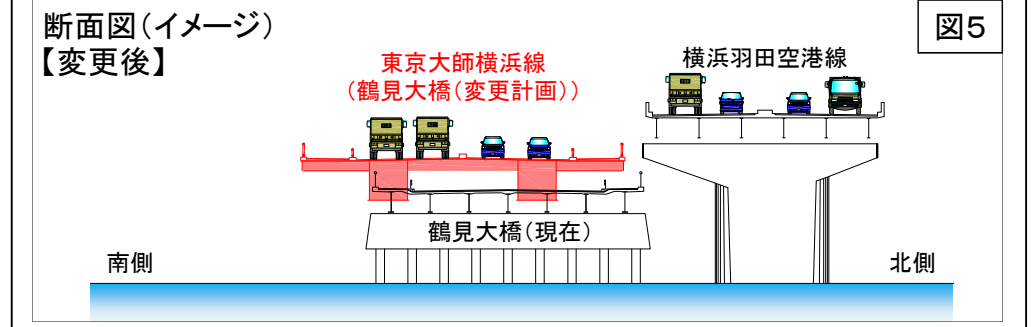
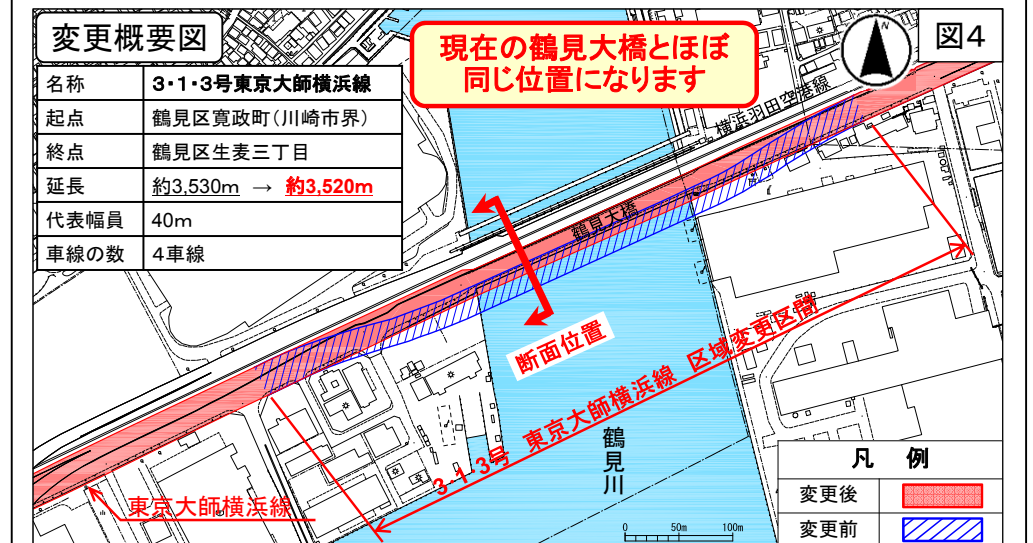
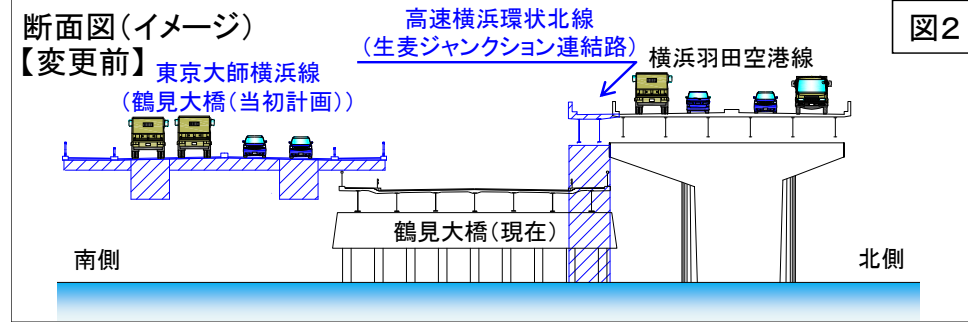
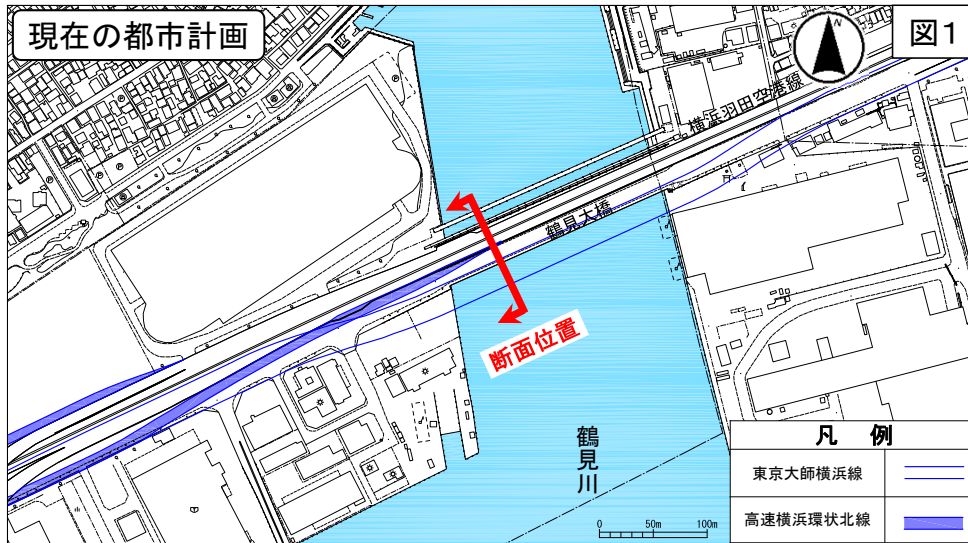


東京大師横浜線の鶴見大橋周辺区間は、高速横浜環状北線生麦ジャンクション連結路とその橋脚に干渉するため、現在の鶴見大橋の位置より南側に架け替える計画としています(図1、図2)。

今回、東京大師横浜線及び高速横浜環状北線の相互の設計を見直した結果、生麦ジャンクション連結路の短縮が可能となり(図3)、現在の鶴見大橋とほぼ同じ位置で架け替えを行うことが可能となりました(図4、図5)。

これにより、東京大師横浜線の線形が改善され、安全性、走行性の向上が図られるため、高速横浜環状北線及び東京大師横浜線の一部について、都市計画の区域を変更します。

### 変更前



※本資料は概要を示すものです。区域等、正確な都市計画市素案の内容については、縦覧期間中に縦覧(閲覧)場所でご確認ください。今回の変更に伴う、新たな用地取得や建物移転等はありません。